

# 令和4年度 事業報告

## 1. 学校法人の概要

### (1) 法人の名称および所在地

法人の名称	学校法人 成徳学園
事務所の所在地	札幌市中央区南 11 条西 8 丁目 2-47

### (2) 理事(6名)・監事(2名)

区分	選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
理事長	第6条1項	高田 研 司	常 勤	令和3年6月8日
理 事	第6条2項	千 葉 英 守	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条2項	細 川 正 人	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条3項	浅 香 博 文	非常勤	令和3年6月8日
理 事	第6条3項	佐 藤 秀 幸	非常勤	令和3年6月8日
常務理事	第6条3項	野 村 昌 昭	常 勤	令和3年6月8日
監 事	第7条1項	荒 信 幸	非常勤	令和3年6月8日
監 事	第7条1項	高 橋 研 人	非常勤	令和3年6月8日

### (3) 評議員 (13名)

選任条項	氏名	常勤・非常勤	最新就任年月日
第23条1項	高田 研 司	常 勤	令和3年6月8日
第23条3項	浅 香 博 文	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	佐 藤 秀 幸	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	玉 木 克 典	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	笹 川 信 雄	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	中 原 明	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	上 田 強 志	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	角 谷 毅	非常勤	令和3年6月8日
第23条3項	馬 場 伸 哉	非常勤	令和3年6月8日
第23条1項	野 村 昌 昭	常 勤	令和3年6月8日
第23条1項	藤 田 留 美	常 勤	令和3年6月8日
第23条2項	長 屋 敦 志	常 勤	令和3年6月8日
第23条2項	小 野 千 晴	常 勤	令和3年6月8日

#### (4)教職員数(令和5年4月1日現在)

専任教員	専任職員	講師
12名	2名	63名

専任教員  
退職者 3名(令和5.3.17付 2名・5.3.31付 1名)

#### (5)入学定員及び学生数

学 科	入学定員	収容定員 (2学年)	学 生 数		退学者	休学者
			令和4年4月1日	令和5年3月31日		
介護 福祉科	80名	160名	1年 32名	1年 29名	2名	1名
			2年 17名	2年 17名	0名	0名
※ こども 福祉科	80名	160名	1年(保・幼) 11名	1年(保・幼) 9名	1名	1名
			1年(保) 15名	1年(保) 12名	3名	0名
			2年(保・幼) 17名	2年(保・幼) 17名	0名	0名
			2年(保) 13名	2年(保) 13名	0名	0名
合 計	160名	320名	105名	97名	6名	2名

※

(保・幼)…保育士・幼稚園教諭コース/(保)…保育士コース

## 2. 事業の概要

### (1)事業計画に基づく動き

#### 1. 学校経営改善3ヶ年計画

##### ①学生募集の基盤構築

コンサルタント会社との契約を終了に伴い、パンフレットを作成し、新たな広報グループを編成して広報活動に臨んだ。コロナウィルス感染の拡大防止の観点から、オープンキャンパスは、人数制限は解除したものの、午前と午後の短時間での開催、一部オンラインで学校説明を行うなど、高校生にとって安心安全な広報活動を展開した。また、内容を大きく二つに分けて、「できる」オープンキャンパスと「わかる」オープンキャンパスとして実施。いずれも、個別対応に特化して、高校生に寄り添う対応を行った。参加人数は、前年度より増加したものの、入学者増加には結びつかなかった。オープンキャンパス集客方法の見直しと、参加者の入学割合(歩留)を上げるための内容改善が必要である。

##### ②人材基盤構築

介護福祉科とこども福祉科の学科を中心として、人材の育成及び学校運営を行った。職員全体あるいは各学科ごとの打合せにより、日々の業務運営や学生指導を行うことができた。また、職員全体の情報共有及び打ち合わせの場合は、随時設定することにより、教員全員が学校全体の動きを確認・検討ができた。

##### ③せいとくブランド構築

令和4年度も、コロナウィルス感染拡大防止のため、外部へ「せいとくブランド」発信の機会を得る事が困難であった。今後は、今の社会情勢の中で施設と協力しながら、ブランド力の確立に向けた活動を展開したい。

## 2. 教育力・サポート力の強化

### ①入学前教育(ゼロガク)の実施

入学前のモチベーション維持と、入学前からのクラスメイトとの関係構築により、スムーズに学校生活に順応できたことと、早期退学防止に繋がったと考えられる。

	日にち	来校参加	オンライン参加
(第1回)	令和4年 6月 25日	1	0
(第2回)	令和4年 7月 30日	2	0
(第3回)	令和4年 9月 3日	5	1
(第4回)	令和4年 10月 1日	4	1
(第5回)	令和4年 11月 26日	6	2
(第6回)	令和4年 12月 17日	4	4
(第7回)	令和5年 1月 28日	5	3
(第8回)	令和5年 2月 18日	5(オペレッタ鑑賞)	開催なし
(第9回)	令和5年 3月 29日	5	4

### ②卒業後教育(プロガク)の実施

本校卒業生を対象に、経験年数を超えての交流を図り、不安や悩み事、疑問等を解決して、仕事へのモチベーションをアップするための研修。

- ・令和4年 3月 30日 20:00～21:00 オンライン (参加者 8名)  
新卒者・新年度配置換えの不安解消  
～ 入職する前の不安 新年度がスタートする今の困りごとの解決方法 ～
- ・令和4年 4月 27日 20:00～21:00 オンライン (参加者 6名)  
仕事を覚える、仕事をするとは  
～ 新年度 環境が落ち着かない中での仕事の覚え方と新職員への仕事の教え方 ～
- ・令和4年 5月 25日 20:00～21:00 オンライン(参加者 4名)  
仕事の目的と人間関係 「仕事をどう伝えるか」 人が育つ伝えかた  
～ 先輩や同僚へどう伝えるか ・ 新卒者へ どう仕事を伝えるか 育て方 ～

※プロガク以外に保育・介護にかかわる研修会を SNS にて随時告知。

### ③スクールカウンセラー(委託)による相談体制の充実と連携

- ・スクールカウンセラー(臨床心理士)により、定期的なカウンセリング体制をとった。急を要する案件については、予定日以外にも対応することにより学生の悩みを早期に解決した。
- ・必要がある場合は、保護者との面談を行うなどして、学生の問題解決に努めた。
- ・迅速に医療機関と連携し早期対応を図るケースもあった。

### ④介護福祉士国家試験合格に向けての取り組み

- ・受験するかしないかを各自選択。また、基準を設けて、卒業に向けて学力に不安があり国家試験合格が困難と判断された学生には、卒業のための学習を優先して国家試験受験を見送らせた。
- ・国家試験受験者 11名合格 (受験者 11名、受験見送り 6名)
- ・授業「国家試験対策」38時間実施
- ・「国家試験受験対策模擬試験」を年3回実施
- ・「国家試験対策講座」 令和4年12月22日～令和5年1月6日(6日間)
- ・「国家試験直前特別対策」 令和5年1月23日～1月27日(5日間)

- ⑤教育力向上のための教員の校外研修・校内研修の実施
- ・日本介護福祉士養成施設協会介護教員講習会 オンライン開催  
(令和4年8月18日～令和5年3月24日) 1名参加
  - ・全国保育士養成協議会 全国保育士養成セミナー オンライン開催  
(令和4年8月25日～26日) 教員4名参加
  - ・日本介護福祉士養成施設協会 全国教員研修 オンライン開催  
「進化・深化する介護、ケアの力 ～養成教育の持続的発展をめざして～」  
(令和4年11月17日) 1名参加
  - ・文部科学大臣認定「職業実践専門課程に係る研修会」  
「学生指導に活かす認知行動療法」  
(令和4年12月22日) 2名参加
  - ・北専各連札幌支部研修会(令和5年1月11日) 1名参加
  - ・日本介護福祉士養成施設協会 北海道ブロック教員研修会 オンライン開催  
「介護現場における介護ロボット・介護ICT導入現状と養成校の導入の実際」  
(令和5年2月20日) 1名参加
  - ・全国保育士養成協議会 実習指導者認定講習会 オンライン開催  
(令和5年3月22日・23日) 1名参加

⑥授業アンケートの活用

各教科のアンケートは Google フォーム(オンライン形式)を導入して、学生がスマートフォンで入力ができるよう変更した。しかし、依然として回答率が低く、データの分析までには至っていない。今後は、回答率の向上を図り、全教科のアンケートのデータ化と分析を行い、教科担当にフィードバックしながら授業の質の向上に努めたい。

⑦留学生向け語学サポート事業の実施

始業前の時間を利用して、日本語教員資格を持つ教員が語学サポートを行った。

3. 職業実践専門課程における各種委員会の開催

①教育課程編成委員会

専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設やその他の教育課程の編成(授業内容・方法の改善・工夫等を含む)を行うための組織

(第1回) 令和4年6月23日 10:00～12:00 (第2回) 令和5年2月28日 10:00～12:00

②学校関係者評価委員会

学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

令和4年8月29日 14:00～16:00

4. 同窓会活動の推進

同窓会日程確定前に、コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定。

5. 介護福祉士および保育士養成科訓練生(高等技術専門学院)の委託受入事業

令和5年4月より、介護福祉士科に3名(受験者3名)の訓練生を受け入れた。

6. 地域住民との共生

- ・オペレッタ・・・令和5年2月17日(金)・18日(土)

コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限を実施。

17日(金)は保育園2園の年長児のみと在校生・講師を招いて開催。18日(土)は保護者・ゼロガク生を事前予約で招き開催。併せてインスタグラムでのLive配信を行い、多くの人に観て頂くことができた。

- ・「サマーフェスティバル in 曙」及び「曙地区親子雪の集い」等の地域行事は、コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。

## 7. 校舎管理に関する修繕工事及び備品購入など

- ①校舎内一部清掃業務委託…クリーンコーポレーション
- ②体育館非常扉の改修
- ③掃除機の分解掃除(8月・12月・3月)
- ④床暖房運転は、2時間ごとに室温確認にて操作。
- ⑤校舎前除雪は、職員で行うことができた。体育館横駐車場は、業者に委託。
- ⑥清掃関係器具及び清掃用品の計画的な更新を行った。

## 8. 経営の安定化

経費支出の削減を目的に、費用発生時の効果と必要性を吟味した。

## 9. 留学生受入事業

- ①「中華人民共和国からの外国人留学生受入プログラム」(共同:西野学園・栗原学園)  
令和5年4月に第2期生9名が入学。奨学金支弁事業所との契約を無事終えている。
- ②日本語科の開設事業  
令和5年4月28日に申請書類を札幌出入国在留管理局に提出。実地調査は、令和5年6月15日。文部科学省のヒアリングは、7月～9月の中で日程をこれから確定する予定。認可決定は、令和5年11月上旬を予定。

## 10. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ①第106回入学式 新入生と専任教員、保護者各家庭2名のみ出席  
規模縮小時間短縮で実施
- ②授業時間及び授業形態の変更  
令和4年7月21日～7月22日 介護福祉科1年生オンライン授業  
令和4年11月14日 こども福祉科2年生のみ休校  
令和4年11月15日～11月16日 こども福祉科2年生オンライン授業  
※その他陽性者や体調不良者は、随時オンライン授業を個別に実施。
- ③実習日程の変更
  - ・介護福祉科1年「介護実習I-①」6/29～7/1 9/21～9/30 (変更なし)
  - ・介護福祉科1年「介護実習I-②」11/10～12/2 (変更なし)  
ただし、一部の学生は、実習施設内での新型コロナウイルス感染拡大のため、学内実習へ変更した。学内実習期間…令和4年11月～令和5年3月(放課後時間利用)
- ④登校時にマスク着用と手指消毒と消毒マット使用。職員は、非接触体温計による検温と体温チェック表記入。学生は各自の体温チェック表記入。
- ⑤教室内に加湿機能付き空気清浄機の配置、一定時間での教室換気
- ⑥トイレ内ペーパータオルの設置
- ⑦共用部分の消毒の徹底
- ⑧第106回卒業式 卒業生と在校生と専任教員及び卒業生の各家庭から2名までの出席  
規模縮小時間短縮での実施

## (2) 教育の概要

### 授業日数・授業時間数

学科・学年	介護福祉科		こども福祉科			
	1年	2年	保育士・幼稚園教諭 コース		保育士コース	
			1年	2年	1年	2年
授業日数	197日	198日	197日	191日	198日	191日
授業回数 (行事除く)	576回	560回	565回	553回	562回	528回

## (3) 就職関係

### ① 求人状況

令和4年度 求人合計 942件 (内訳: 北海道内 635件 / 北海道外 307件)

	種別	道内求人		道外求人	
		施設数	求人数(人)	施設数	求人数(人)
1	特別養護老人ホーム	70	179	37	160
2	介護老人保健施設	21	62	19	81
3	病院・医療法人	14	47	32	88
4	社会福祉法人	34	160	4	34
5	高齢者その他	50	177	26	132
6	保育所	142	391	140	826
7	幼稚園	50	134	7	17
8	認定こども園	91	243	10	37
9	児童養護施設	13	48	-	-
10	障がい児施設	27	59	18	70
11	託児所	40	133	4	8
12	障がい者支援施設 (身体障害者)	6	12	-	-
13	障がい者支援施設 (知的障害者)	38	143	3	15
14	公務員・その他	36	101	1	5
15	一般企業	3	14	5	40
	合計	635	1,903	307	1,516

## ②就職実績

学 科	クラス	在籍数	就職を依頼 しない者	就 職 希望者	就職 決定者	就職率
介護福祉科	2KA	17名	0名	17名	17名	100%
こども福祉科	2SA	17名	1名	16名	16名	100%
	2SB	13名	0名	13名	13名	100%
合 計		47名	1名	46名	46名	100%

## (4) 学生募集関係

### ①令和4年度の応募者数(令和5年4月入学生)

	応募者数			実入学者数		
	介護福祉科	こども福祉科		介護福祉科	こども福祉科	
		保・幼	保		保・幼	保
推薦入試	0名	0名	0名	0名	0名	0名
一般入試	2名	2名	1名	2名	2名	1名
A O 入試	8名	6名	4名	8名	5名	4名
指定校推薦入試	3名	3名	0名	3名	3名	0名
高等技術専門学院 訓練生	1名	—	0名	1名	—	0名
留 学 生	11名	—	—	11名	—	—
復 学 生						
原級留置				2		
合 計	25名	11名	5名	27名	10名	5名

※保・幼…保育士・幼稚園教諭コース／保…保育士コース

## ②募集活動 ※( )内は令和4年度実績

入学案内を再開。進学相談会と校内ガイダンス参加を増やし、入学者増を目指した。

### ア)進学相談会(21回)・校内ガイダンス(25回)

北海道内の市町村にて、会場あるいは高校内体育館でブースを設けて、高校生に学校の説明をする。新型コロナウイルス感染拡大防止の動きも収まりつつあり、参加が増えた。昨年度より、進学相談会14回増。校内ガイダンス5回増。

### イ)進学雑誌・ホームページ

進学雑誌は、業者が発行して高校生に配布する媒体(インターネット連動)に参画。ホームページは、学校の紹介と資料請求ができるものとして本校独自に作成。

ウ) オープンキャンパス(27回)

高校生が介護・保育の体験を通して、職業理解・学校理解を深め、本校入学に結び付ける企画。コロナウィルス感染拡大防止の観点から、オンライン参加と来校の両方で開催した。また、開催時間は午前と午後の短時間で行うものと、昼食付で 11:00～15:00 で行うロングオープンキャンパスの 2 種類を実施。午前、午後に分けるオープンキャンパスは個別面談重視。ロングオープンキャンパスは、帰属意識を感じられることをねらいとして行った。

エ) 職業説明会・なるには説明会(19校)

依頼を受けた道内の高校に訪問して、高校 1～3 年生(一部中学生参加)を対象に、「介護分野」「保育分野」等の職業についてあるいは職業に就くまでのルートを解説する。昨年度より 4 校増加。

オ) 学校見学(中学生・高校生・日本語学校生) (14校 133人)

依頼を受けた道内の中学校・高校より生徒が来校。キャリア教育の一環として模擬授業等を通して、進路選択についてより具体的なイメージを持つためのもの。新型コロナウイルス感染拡大防止の動きが減少し、昨年度より 12 校増。106 名増。

カ) 高校教員研修会(6校)

高等学校教員を対象に、奨学金・介護・保育分野等の説明を実施した。

月日	会場 (高等学校等)	参加者	月日	会場 (高等学校等)	参加者
4/6	札幌新陽高等学校	26	3/17	オンライン説明会	1
8/8	札幌集合型説明会 (西野学園で実施)	24	2/16	大空高等学校 (オンライン)	10
11/30	足寄高等学校	15	3/30	札幌新陽高等学校	10